

令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（ 60 ） 学校名 豊田市立足助小学校

1 テーマ

「地域に学び、かかわり、発信する子どもの育成」
～「みんな大好き！足助の町」の実践を通して～

2 ねらい

- 自分たちの住む地域の自然や人、もの、歴史、文化に触れ、足助のよさを感じ取らせることで、足助地区に根ざし、伝統や文化、自然などを守り育てていく人材を育てる。
- 地域の中で児童が、見たい、知りたい、やってみたいと思う地域素材をピックアップし、地域の人材を活用して、学んだり、体験したりする機会を設定することで、学びを地域へ発信していく力を育てる。

3 活動内容

- 地域の人材や素材から学んだり、かかわったりする活動
 - ・地域の自然を学ぶ
環境学習（5年）、自然学習（1・2年）
 - ・地域の食を学ぶ
朴葉餅づくり（3年）、五平餅づくり（1・2年）
 - ・地域の伝統行事から学ぶ
綾渡踊り（全校）、たんころりんづくり（6年）、餅花づくり（1・2年）
 - ・地域の伝統を受け継ぐ
もみじの植樹（5年）
 - ・地域の人材から学ぶ
陶芸、合唱、重伝建、香積寺、平勝寺、足助八幡宮、足助城、栽培、防災
- 生活科・総合的な学習の時間と関連づけた学習
 - 1年：こども園との交流、自然学習
 - 2年：足助の町探検、自然学習
 - 3年：足助の人、福祉、地域食
 - 4年：足助の防災
 - 5年：足助の自然環境
 - 6年：足助の歴史

4 成果と課題

<テーマに関わる活動について>

- ・ 昨年に引き続き、綾渡踊りを運動会で実施し、全校児童と保護者が踊る機会を設けたことで、学校行事が踊りの伝承の機会の一つとなっている。また、平勝寺で綾渡踊りについて学んだことで、地域の伝統への理解が深まった。
- ・ 校外学習で、御内町や神越溪谷、足助城などのあまり子どもたちが行ったことのない地域の学習をしたことで、「家の人とまた行ってみたい」「足助についてもっと調べてみたい」など、自分たちの住んでいる地域により愛着を感じるようになっていく。
- ・ 地域の伝統を学ぶ中で、朴葉餅作りや五平餅作りを行ったことで、食の伝統に目を向けることができた。
- ・ 地域の自然や歴史について学習することにより、美しい自然を守ることや伝統を引き継いでいくことの大切さについて考えるようになっていく。
- ・ 5年生が中心となって香嵐溪のクリーン活動を計画し、全校児童と保護者ボランティアで協力して実施したり、もみじの植樹祭に参加したりすることを通して、香嵐溪の景観を守っていこうという気持ちを高めることができた。
- ・ 教員は、毎年入れ替わりがあり、担当する学年も変わるため、引継ぎを確実にして本校の特色を生かした活動が継続していくようにしたい。

<心の相談員について>

- ・ 昨年度と同じ方だったので、子どもにも十分認知され、心に不安を抱える児童が安心して相談することができた。教員とは違った視点、立場で児童を見守り、担任や相談主任等と情報共有しながら相談活動を進めることで、子どもたちの表情や様子など小さな変化も見逃さずに対応することができた。

<校内整備員について>

- ・ 校内整備員を配置し、校務主任と連携しながら樹木の手入れや草刈り、施設の整備、イノシシの進入防止柵の設置など校地内の環境整備を進めることで、より安全で快適な環境を保つことができた。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ 学校ホームページで、各学年の取組を5回、紹介することができた。
- ・ 学校だよりで特色ある学校づくり推進事業に関する内容を毎回取り上げ、学年の取組を全学年1回以上紹介した。
- ・ 学校行事で特色ある学校づくり推進事業に関わる発表を行った。(5月全校)
- ・ 授業参観で特色ある学校づくり推進事業に関わる公開授業を行った。(2月全校)